

国道399号^{だ て はし}伊達橋 復旧事業説明会

令和6年11月27日

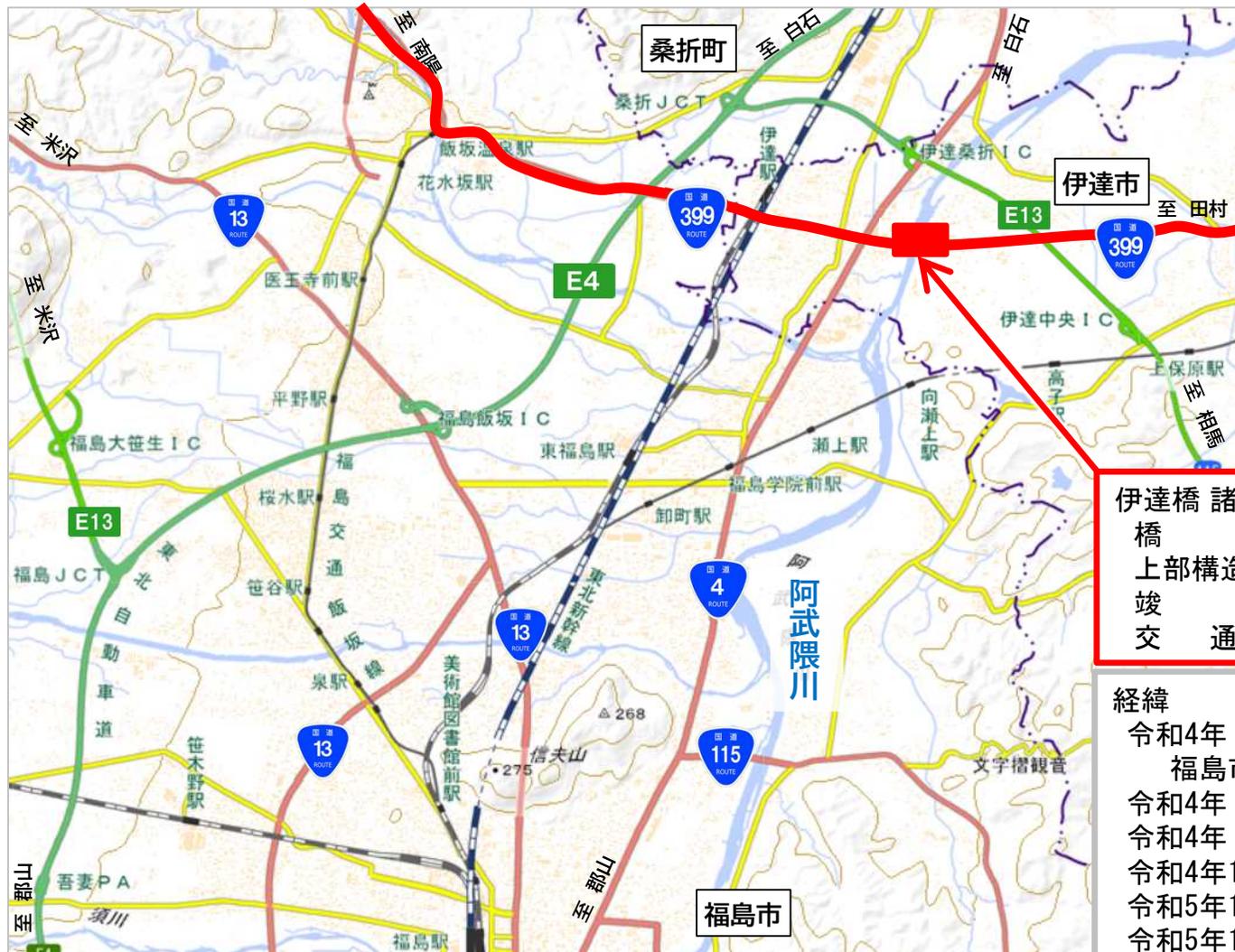
東北地方整備局 福島河川国道事務所

■説明内容

1. 経緯と現状
2. 新しい橋の計画について
3. 新しい橋の工事について

1. 経緯と現状

- 阿武隈川を渡河する国道399号伊達橋は、令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震により、通行止めとなる甚大な被害が生じました。
- 復旧には高い技術力を要することから、福島県知事からの要望を受け、国の権限代行による復旧を行っています。



被災した伊達橋

至 伊達市保原

至 福島市

支承の損傷

伸縮装置の破損

伊達橋 諸元

橋	長	: 288m
上部構造形式	: 4径間鋼トラス橋	
竣工	工	: 昭和42年
交通量	: 14,249台/日 (H27センサス)	

経緯

- 令和4年 3月16日 福島県沖地震発生
- 福島市、伊達市、桑折町の最大震度：6弱
- 令和4年 4月 8日 権限代行による復旧事業の決定
- 令和4年 8月 5日 伊達橋復旧方針決定
- 令和4年12月14日 仮橋設置工事着手
- 令和5年10月15日 新しい橋の形式決定
- 令和5年10月29日 仮橋開通



仮橋開通(令和5年10月29日撮影)



被災した伊達橋の撤去状況(令和6年1月27日撮影)





新しい橋桁を工場で製作中です

右岸

左岸

至 国道4号

A2橋台

P3橋脚

A2橋台の改修が
完了しました

P2橋脚

橋脚の補強が
完了しました

P1橋脚

阿武隈川

A1橋台

至 伊達市役所

A1橋台は工事中です

橋脚補強
着工前



橋脚補強
完成



橋台改修
着工前

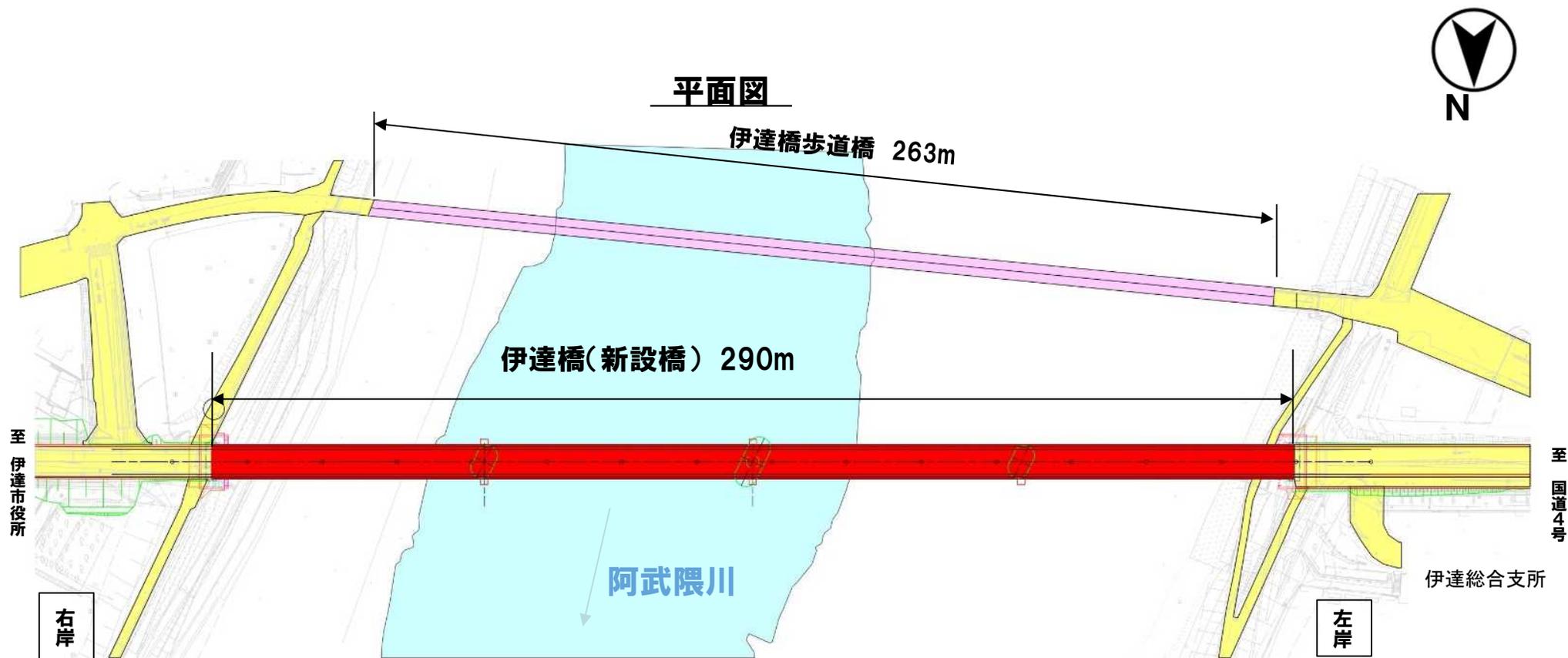


橋台改修
完成

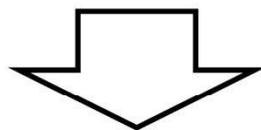
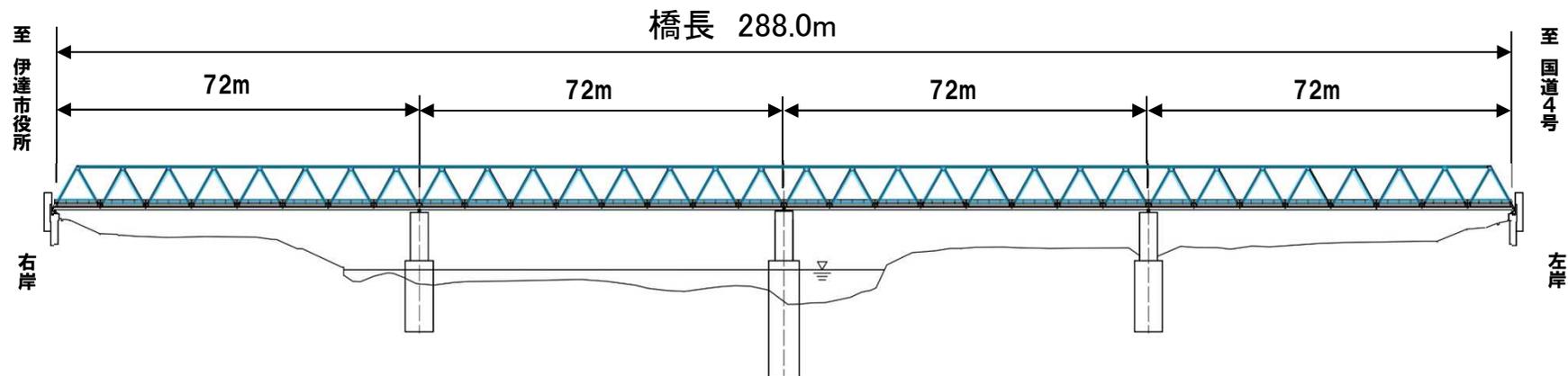


2. 新しい橋の計画について

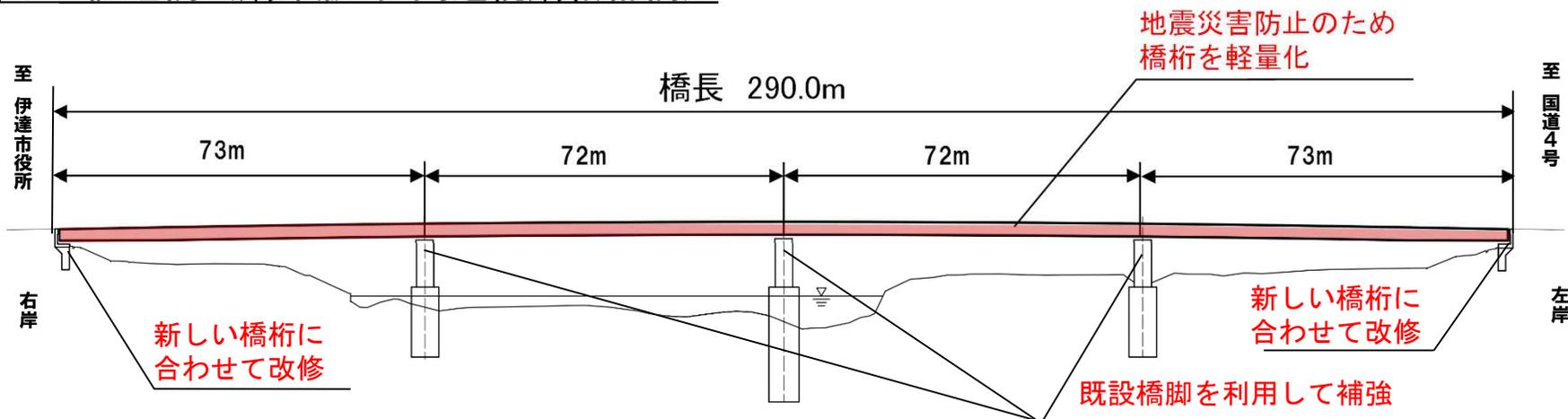
▶ 新しい橋は、以前と同じ位置に設置します。



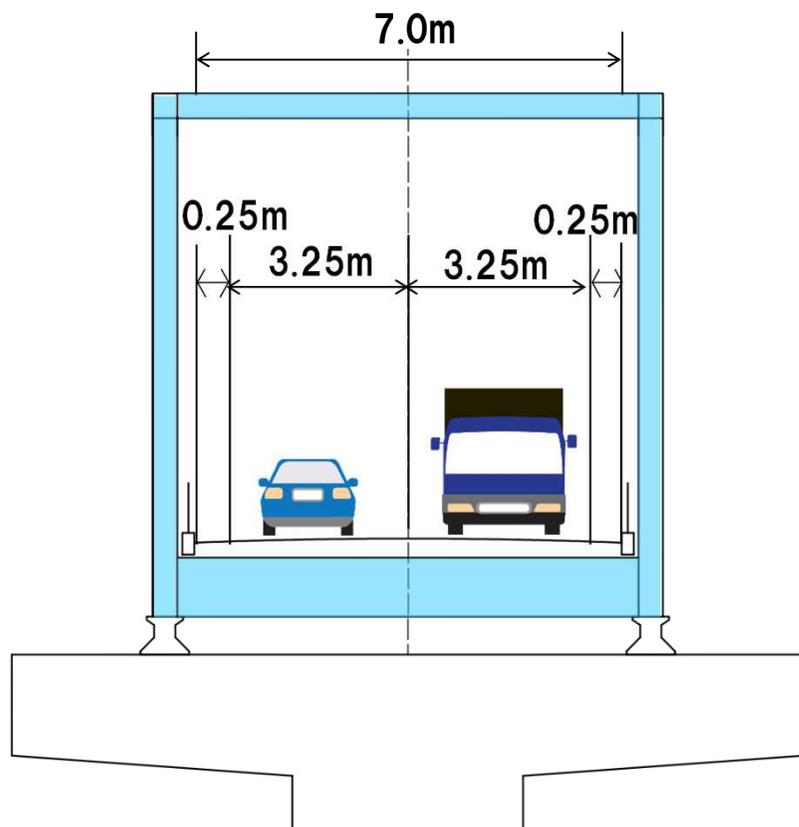
被災した伊達橋（4径間連続ワーレントラス橋）



新しい伊達橋（鋼床版4径間連続鋼箱桁橋）

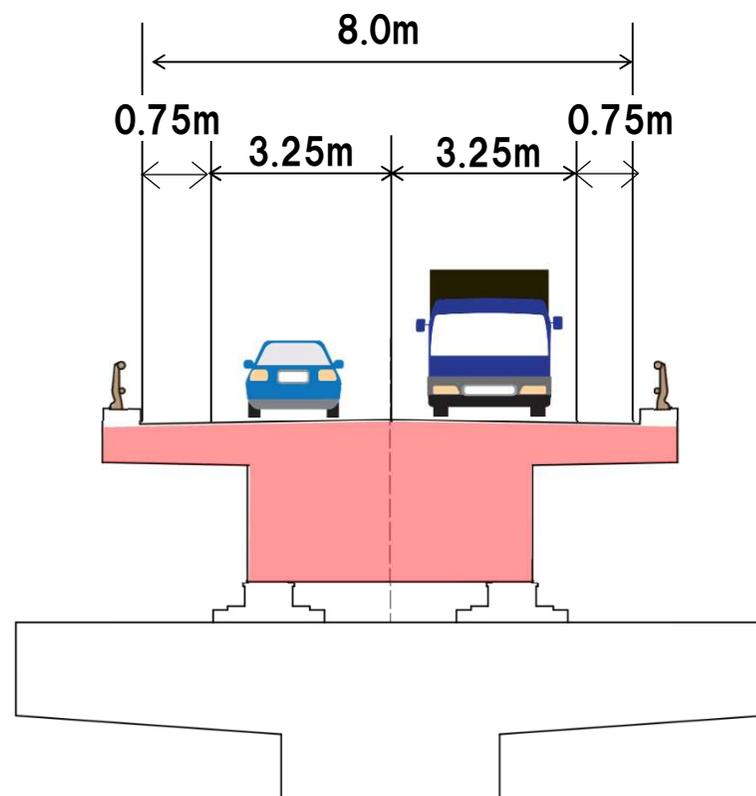


被災した伊達橋



- 車道 幅3.25m×2車線
- 路肩 幅0.25m×2車線

新しい伊達橋



- 車道 幅3.25m×2車線
- 路肩 幅0.75m×2車線



※イメージであるため、色彩等実際と異なる場合があります。

3. 新しい橋の工事について

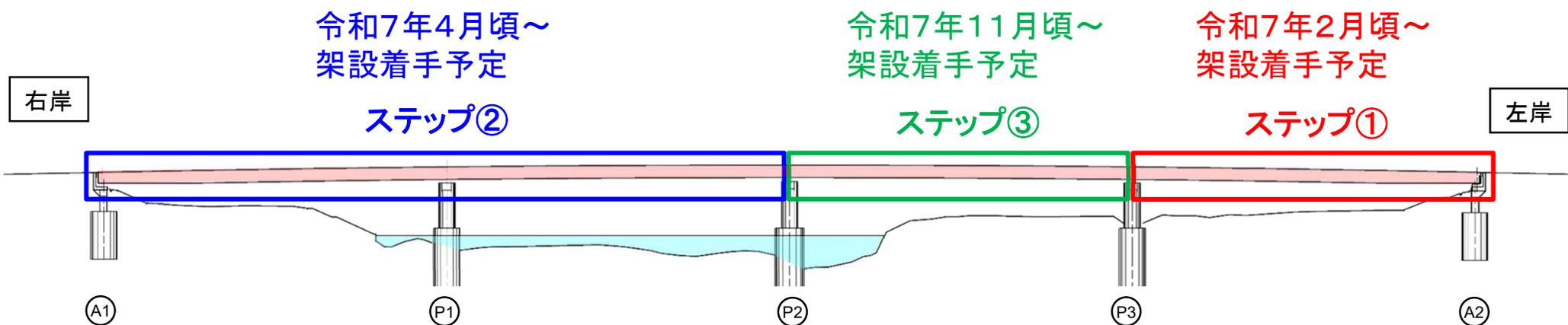
工事の流れ(橋桁架設手順)

▶ 橋桁は、ステップ①(赤色部分)→ステップ②(青色部分)→ステップ③(緑色部分)の順に架設します。



- 令和 6年11月27日時点 新しい橋桁を工場で作成中です。
- 令和 7年 1月頃 (予定) ~ ステップ①範囲の架設のための準備作業に着手します。
- 令和 7年 2月頃 (予定) ~ **ステップ①範囲の架設作業に着手します。**
- 令和 7年 4月頃 (予定) ~ ステップ②範囲の架設作業に着手します。
- 令和 7年11月頃 (予定) ~ **ステップ③範囲の架設作業に着手します。**

※着手時期については現時点の予定であり、天候の影響などにより変更となる可能性があります。



【工事情報】

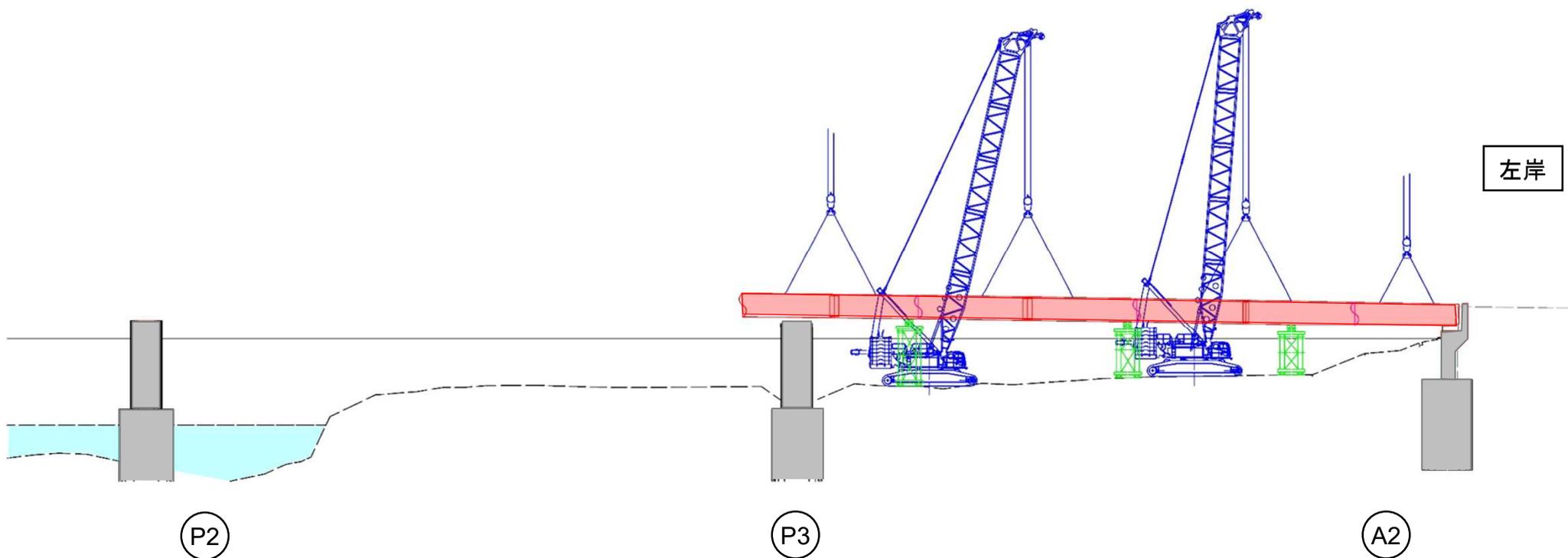
工事名：国道399号伊達橋上部工工事

施工業者（株）IHIインフレシシステム

工期：令和6年3月13日～令和8年2月24日

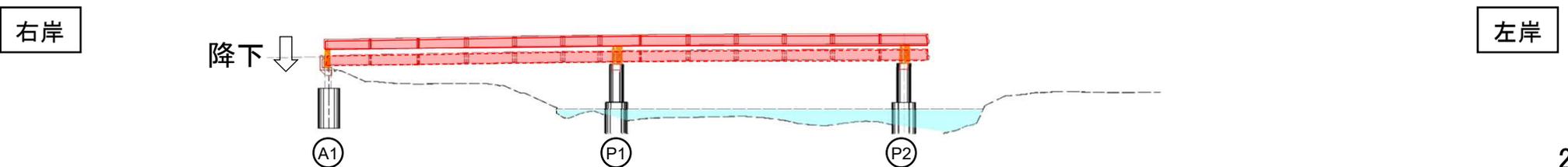
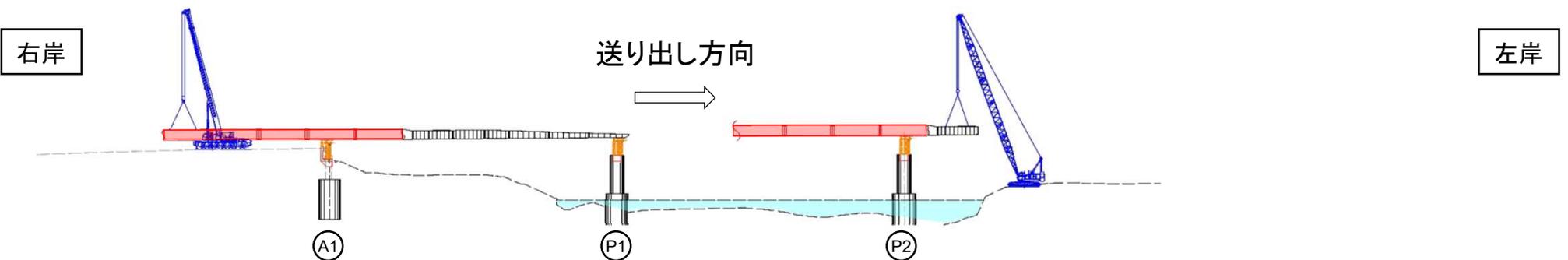
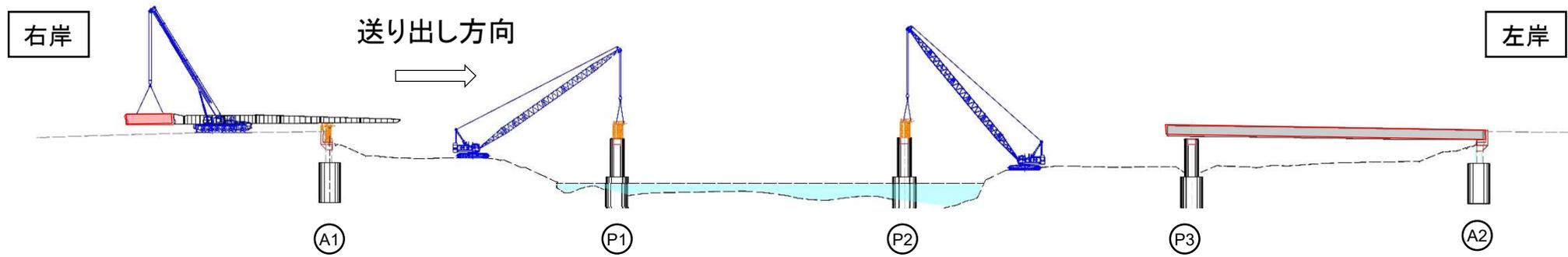
架設ステップ①

➤ P3橋脚～A2橋台までの橋桁をクレーンで架設します。



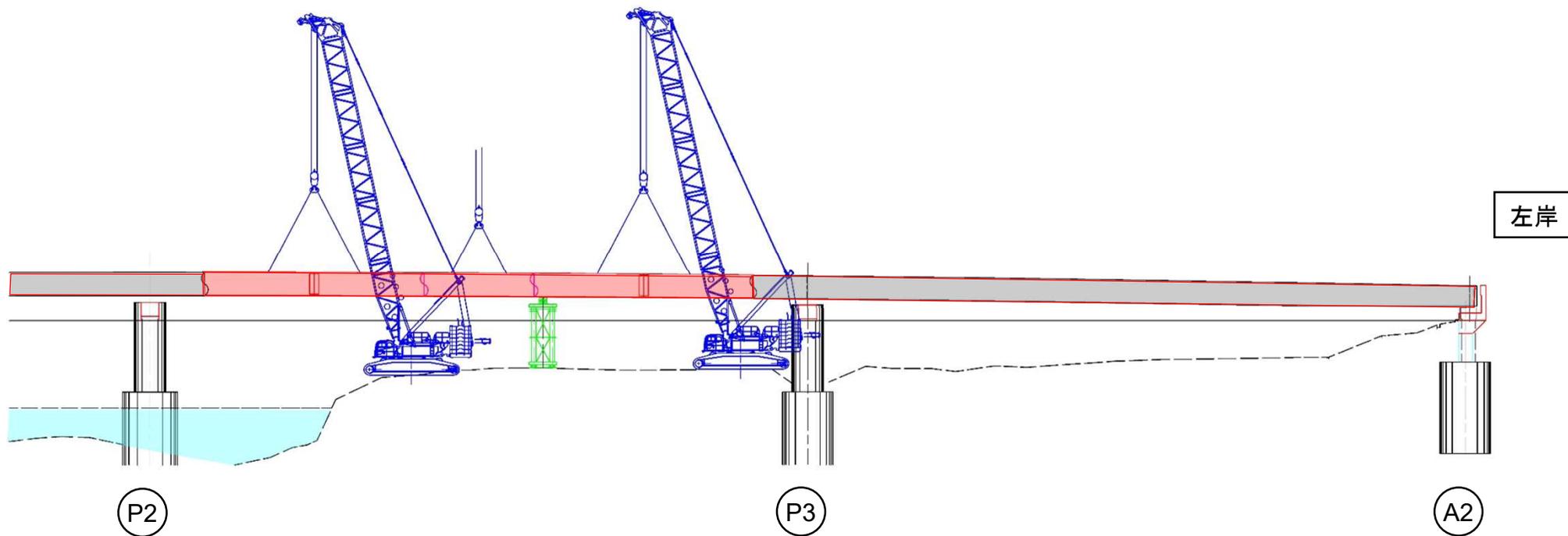
架設ステップ②

➤ A1側から送り出し工法によりP2橋脚まで橋桁を架設します。



架設ステップ③

➤ P2～P3橋脚までの橋桁をクレーンで架設し、桁を連結します。



関係機関と調整しながら、一日も早い復旧を目指して工事を進めてまいります。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

◎東北地方整備局 福島河川国道事務所

工務第二課 建設専門官 つしま さとし 對馬 聡

TEL:024-539-6126